

知財経営塾 in 宮崎

「技術開発と知財マネジメントによるビジネスイノベーション戦略(仮)」

平成26年7月
九州経済産業局

【開催趣旨】

「日本再興戦略」では、我が国の再生へ向けて「イノベーション」をキーワードとした取り組みの方向性が明示され、その実現にあたっての大きな課題として、イノベーションの創出における地域的な支援の必要性が挙げられている。

九州経済産業局では、H24年度に有識者からなる研究会を設置。中長期的な競争優位を維持し、イノベーションを創出するためには「技術開発+知財マネジメント+オープン化」といった三位一体のビジネスモデル構築の重要性等が指摘。

また、九州知的財産戦略協議会(注)の議論の中でも、中小企業のビジネスモデル構築において知財戦略が必要との視点が欠けている旨の指摘がなされ、経営者層に対する知財の重要性の意識付けをセミナーで醸成していく等の必要性が示されたところ。

本塾は、かかる経緯を踏まえ、中小企業が直面する課題やフロンティアについて知的財産と技術の関係に着目しつつ、中小企業における知財マネジメントを含むビジネスモデル構築の醸成を目指したセミナーとしてH25年度より開催。

今年度は、知財を活かした経営戦略の重要性等の理解を深めるため、地域企業の経営者層を主な対象として開催を予定。
(注):九州知的財産戦略協議会…H26年度から「九州知的財産活用推進協議会」として発足

1. 日 時:平成26年11月5日(水) (弁理士相談会…11:00~12:00)
(セミナー…13:30~16:00)
2. 場 所:宮崎市総合体育館 (弁理士相談会…小会議室)
(セミナー…大会議室)
3. テ ー マ:「技術開発と知財マネジメントによるビジネスイノベーション戦略(仮)」
4. 主 催:特許庁、九州経済産業局、九州知的財産活用推進協議会、九州イノベーション創出戦略会議
5. 後援(予定):宮崎県、宮崎市、(一社)宮崎県発明協会、(公財)宮崎県産業振興機構、(一社)宮崎県工業会、(一社)宮崎県商工会議所連合会、宮崎県商工会連合会、宮崎県中小企業団体中央会
6. スケジュール:【弁理士相談会】11:00~12:00(60分、小会議室)
ソシデア知的財産事務所・宮崎事務所 弁理士 小木 智彦 氏
講師等との事前打合せ 12:00~13:00(60分、中会議室)
【セミナー】13:30~16:00(150分、大会議室)
基調講演 13:40~15:00(80分)
(一財)食品産業センター技術環境部 加藤 正樹 氏
(元 日清食品ホールディングス(株) 知的財産部長)
事例発表 15:10~15:40(30分)
福山黒酢(株) 代表取締役 津曲 泰作 氏 (鹿児島県霧島市)
施策紹介 15:40~16:00(20分)
(一社)宮崎県発明協会
九州イノベーション創出戦略会議

経済産業省 平成25年度補正予算事業
地域オープンイノベーション促進事業

【事業目的】

公設試験研究機関に、

地方産業競争力協議会で特定された戦略産業分野に沿った

試験研究・検査設備を整備し、

企業の皆様に研究利用等のためにお使い頂き、

成長産業の育成や新産業の創出を図る。

(注) 公設試験研究機関への設備の整備は、平成26年9月以降の予定ですが、設備によって整備時期及び利用料金が異なりますので、利用に当たっては整備場所へご確認ください。

【試験研究・検査設備をお使い下さい】

広く試験研究・検査設備をお使い頂くために、各公設試験研究機関に『専門家』を配置しています。『専門家』は設備利用にあたってのご相談をお受けし、設備に係る情報をお届けいたします。ご利用にあたっては、各公設試験研究機関の『専門家』へお気軽にお尋ねください。各公設試験研究機関への問合せ先は、次ページ以降の設備の紹介の中に明記しています。

ヘルスケア・バイオ関連分野

食品機能性マルチ評価システム

【利用目的】：ヘルスケア・バイオ・コスメティック分野において、農林水産資源等の食品機能性を評価し、機能性食品及び機能性化粧品等の製品開発、製造に利用する。

【用途】：農林水産資源を活用したヘルスケア・バイオ・コスメティック製品の開発、製造に不可欠な機能性評価（抗酸化活性、抗糖化活性、美白作用、保湿作用等）、安全性評価（細胞毒性、有害成分等）を行う。

(マルチプレートリーダー)

(マルチ型ICP発光分光分析装置)



(紫外・可視分光光度計)

福岡県工業技術センター
生物食品研究所 食品課

福岡県久留米市合川町1465-5
<http://www.fitc.pref.fukuoka.jp/center/bfri/bfri.htm>
問合せ先電話: 0942-30-6644
専門家: 大塚雅則(おつか まさのり)

ヘルスケア・バイオ関連分野

光脳機能イメージング装置

【利用目的】：福祉・リハビリテーション機器の開発や介護食・高齢者食の改善、開発に利用する。

【用途】：感覚や味覚などに関連が深い脳の部位ごとの活動を、脳表面血流と筋電位を介して可視化・定量化することができ、福祉・リハビリテーション機器の開発や介護食・高齢者食の開発における人間工学的評価ツールとして使用する。

(筋電位計測装置)



(ホルダ装置)



(脳機能マッピング装置)

宮崎県宮崎市佐土原町東上那珂16500-2
http://www.iri.pref.miyazaki.jp/?page_id=24
問合せ先電話: 0985-74-4311
専門家: 中治十成(なかじ たるしげ)

宮崎県工業技術センター 機械電子部

ヘルスケア・バイオ関連分野

トリプル四重極型誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS/MS)

【利用目的】：血液・血管・人工透析などの血液関連の研究や医療機器の開発、体外診断薬や医薬品などの開発・品質向上に利用する。

【用途】：マイクロ波分解前処理装置などで溶液化した試料中の超微量元素を高精度で分析し、血管や血液に関連する医療機器の研究開発や品質管理に利用する。また、血液・血清・尿中の微量元素から疾病診断などの研究に用いる。



(マイクロ波分解前処理装置)

(誘導結合プラズマ質量分析装置)



(超純水製造装置)

大分県大分市高江西1-4361-10
<http://www.oita-ri.jp/>
問合せ先電話: 097-596-7100
専門家: 吉松研一(よしまつ けんいち)

大分県産業科学技術センター 工業化学担当

クリーン産業分野

電気ノイズ安全評価装置

【利用目的】：国際規格であるIEC規格や国内規格の電気用品安全法(PSE)に準じたノイズに対する耐性と安全性を評価し、高品質で安全な製品開発を行う。

【用途】：電子・電気機器の性能・安全性を評価するために、悪影響を及ぼす電気的ノイズを外部から印加し、安定動作・耐久性を確認する。また耐電圧・絶縁抵抗や漏れ電流などの保護対策と安全評価を行う。

(ノイズ試験器)

(ファストトランジェント/バースト試験器)

(漏れ電流試験器)

(静電気試験器)

(電源電圧変動試験器)

(アース導通試験器)

(耐電圧・絶縁抵抗試験器)

(雷サージ試験器)

長崎県工業技術センター 基盤技術部
電子情報科

長崎県大村市池田2-1303-8
<http://www.pref.nagasaki.jp/section/kogyo-c/>
問合せ先電話: 0957-52-1133
専門家: 藤山恒彰(ふじやま つねあき)

クリーン産業分野

温湿度・振動複合環境試験システム

【利用目的】：照明器具(特にLED照明)の温湿度・振動に対する環境試験を行い、劣化度合いや寿命を測定し、製品の信頼性・品質向上に利用する。

【用途】：熱的環境・機械的環境試験により、屋外用投光機・集魚灯・植物育成用照明などの特性評価を行う。また全光束測定により、産業用照明器具の性能評価を行う。

(複合振動試験装置)

(全光束測定装置)



鹿児島県工業技術センター 生産技術部

鹿児島県霧島市隼人町小田1445-1
<http://www.kagoshima-it.go.jp/>
問合せ先電話: 0995-43-5111
専門家: 小谷俊明(こたに としあき)